

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	2940	3.利用用途別分類	スポーツ施設								
2.施設名	ニツ山農村運動広場	4.利用圏域別分類	地区								
5.所在地(町名・番地)	田野町甲7369-45	15.設置根拠法令	スポーツ基本法								
6.バス停	ニツ山(820m)	16.設置条例	宮崎市運動広場条例								
7.開設年月日	昭和55年3月25日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他		19. 内部								
11.財産区分	公共用			写真							
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地区再編農業構造改善事業補助によって、旧田野町東地区における地域スポーツ振興の拠点施設として整備され、地元の体育祭やスポーツ少年団の活動場所として利用されている。標高:138.0m										
13.主な利用者	地域住民スポーツ少年団	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	10.50 m							
14.利用者駐車可能台数	15台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	14,498.00 m ²		24.建物情報	総延床面積	17.86 m ²					
	現況地目	雑種地			取得価額計(開始時簿価計)	— (—)					
	土地所有形態				階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1980年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	—	—	—	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	365	100.0	365	—	耐震対応(主たる建物)	対象外				
利用率	—	—	—	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	886	87.3	1,015	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	136	51.3	265	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	886	87.3	1,015	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	173	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	886	87.3	1,015	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2940	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	二ツ山農村運動広場	4.利用圏域別分類	地区																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																														
	品質評価の評価(偏差値)		45.0																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		45.0																														
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>37.000 年</td> <td>41.4</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>2.000 件</td> <td>49.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>22.0</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>56.6</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>55.7</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	37.000 年	41.4	26.600 年	劣化度数(棟平均)	2.000 件	49.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	22.0	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件	評価値		45.0			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	37.000 年	41.4	26.600 年																												
		劣化度数(棟平均)	2.000 件	49.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	22.0	4.700 点																												
		クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件																														
評価値		45.0																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td></td> <td>45.6</td> <td>12.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.000 人</td> <td>44.3</td> <td>0.084 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.000</td> <td>45.0</td> <td>1.784</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数		45.6	12.000 人	稼働率			%	建物1㎡当たりの利用量率	0.000 人	44.3	0.084 人	建物1㎡当たりの利用量率			台	土地1㎡当たりの利用量率			人	市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784	評価値		45.0	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数		45.6	12.000 人																														
稼働率			%																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.000 人	44.3	0.084 人																														
建物1㎡当たりの利用量率			台																														
土地1㎡当たりの利用量率			人																														
市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784																														
評価値		45.0																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>100.000 %</td> <td>44.1</td> <td>78.743 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>105.200 %</td> <td>45.1</td> <td>87.543 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>49.608 千円</td> <td>45.6</td> <td>37.945 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>44.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	100.000 %	44.1	78.743 %	市負担額(ソフト)前年度比	105.200 %	45.1	87.543 %	建物1㎡当たりの市負担額	49.608 千円	45.6	37.945 千円	土地1㎡当たりの市負担額			千円	利用量当たりの市負担額			千円	評価値		44.9					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	100.000 %	44.1	78.743 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	105.200 %	45.1	87.543 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	49.608 千円	45.6	37.945 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額			千円																														
利用量当たりの市負担額			千円																														
評価値		44.9																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	2940	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	ニツ山農村運動広場	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析 (総括)	いつでも誰でも使用できる無料の屋外スポーツ施設であり、施設の維持管理に費用を要している。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数、劣化度点数、耐震対応【原因】施設建設後38年経過しており、利用用途がトイレ・倉庫に限定されているため、耐震補強は未実施である	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率(コマ利用・定員充足)、②建物1㎡当たりの利用率、③市負担額千円当たりの利用率 【原因】①、②、③無料の施設であり、利用人数の把握を行っていない	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、②市負担額(ソフト)前年度比、③建物1㎡当たりの市負担額、 【原因】①～③維持管理費がかかるが、無料施設であるため、市負担額が増となっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地区に同じ利用用途の施設はない	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野東地区公民館、ニツ山団地	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道269号線を東進し、約800m先を右折した先にある。ニツ山バス停より徒歩で約15分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 施設所在地から半径1km 【現在の人口】377人(平成22年10月1日現在 国勢調査より算出) 【将来の人口】342人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値より算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】300万円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	地区再編農業構造改善事業補助によって、旧田野町東地区におけるスポーツ振興の拠点施設として整備された。	


(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2940	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	ニツ山農村運動広場	利用圏域別分類	地区
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2940	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	ニツ山農村運動広場	利用圏域別分類	地区
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外するとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	2970	3.利用用途別分類	スポーツ施設							
2.施設名	田野南農村運動広場	4.利用圏域別分類	地区							
5.所在地(町名・番地)	田野町甲10533	15.設置根拠法令	スポーツ基本法							
6.バス停	上榎田(1780m)	16.設置条例	宮崎市運動広場条例							
7.開設年月日	昭和56年3月25日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観								
9.指定管理期間			19. 内部		写真					
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	農村地域農業構造改善事業補助によって、旧田野町南地区における地域スポーツ振興の拠点施設として整備され、地元の体育祭やスポーツ少年団の活動場所として利用されている。標高:169.1m		20.避難所の指定(標高)		169.10 m					
13.主な利用者	地域住民スポーツ少年団				21.投票所の指定		無			
14.利用者駐車可能台数	5台		22.土地情報		24.建物情報					
22.土地情報	土地面積	6,765.00 m ²				総延床面積	38.00 m ²			
	現況地目	その他				取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	土地所有形態					階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨			
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	1981年			
23.利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	—	—	—	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	365	100.0	365	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用率	—	—	—	—	未利用スペース	0 m ²				
25.収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	5	100.0	5	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	880	95.9	918	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	130	77.4	168	—
	その他③	5	100.0	5	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	5	100.0	5	—	支出合計⑩	880	95.9	918	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	24	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	5	100.0	5	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	875	95.8	913	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	100.0	99	—	
32.施設所管課	スポーツランド推進課				33.施設主管課	スポーツランド推進課				

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2970	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	田野南農村運動広場	4.利用圏域別分類	地区																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																																
	品質評価の評価(偏差値)		36.9																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		47.0																																
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>36.000 年</td> <td>42.2</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>6.000 件</td> <td>29.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>22.0</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>56.6</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>3.000 件</td> <td>34.4</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>36.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	36.000 年	42.2	26.600 年	劣化度点数(棟平均)	6.000 件	29.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	22.0	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件	評価値		36.9					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			築年数(棟平均)	36.000 年	42.2	26.600 年																													
			劣化度点数(棟平均)	6.000 件	29.5	1.900 件																													
			耐震対応(棟平均)	3.000 点	22.0	4.700 点																													
			クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点																													
バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件																																
評価値		36.9																																	
② 供給評価	② 供給評価 利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用率 市負担額千円当たりの利用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td></td> <td>45.6</td> <td>12.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td>0.000 人</td> <td>44.3</td> <td>0.084 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.000</td> <td>45.0</td> <td>1.784</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数		45.6	12.000 人	稼働率			%	建物1㎡当たりの利用率	0.000 人	44.3	0.084 人	建物1㎡当たりの利用量率			台	土地1㎡当たりの利用率			人	市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784	評価値		45.0	
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			日あたり利用者数		45.6	12.000 人																													
			稼働率			%																													
			建物1㎡当たりの利用率	0.000 人	44.3	0.084 人																													
			建物1㎡当たりの利用量率			台																													
土地1㎡当たりの利用率			人																																
市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784																																
評価値		45.0																																	
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>99.430 %</td> <td>44.3</td> <td>78.743 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年比</td> <td>98.400 %</td> <td>47.0</td> <td>87.543 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>23.026 千円</td> <td>55.7</td> <td>37.945 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>49.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	99.430 %	44.3	78.743 %	市負担額(ソフト)前年比	98.400 %	47.0	87.543 %	建物1㎡当たりの市負担額	23.026 千円	55.7	37.945 千円	土地1㎡当たりの市負担額			千円	利用量当たりの市負担額			千円	評価値		49.0					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			市負担割合	99.430 %	44.3	78.743 %																													
			市負担額(ソフト)前年比	98.400 %	47.0	87.543 %																													
			建物1㎡当たりの市負担額	23.026 千円	55.7	37.945 千円																													
			土地1㎡当たりの市負担額			千円																													
利用量当たりの市負担額			千円																																
評価値		49.0																																	
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図 																																	
			品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)																															

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2970	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	田野南農村運動広場	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析 (総括)	いつでも誰でも利用できる無料の屋外スポーツ施設であり、施設の維持管理に費用を要している。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数、劣化度点数、耐震対応、バリアフリー未対応【原因】施設建設後37年経過しており、ひび割れや雨漏りがみられる。利用用途がトイレ・倉庫に限定されているため、耐震補強は未実施である。多目的トイレ、車いす使用者駐車施設、点字ブロック等が設けられていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率(コマ利用・定員充足)、②建物1㎡当たりの利用率、③市負担額千円当たりの利用率 【原因】①、②、③無料の施設であり、利用人数の把握を行っていない	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、②市負担額(ソフト)前年度比、③建物1㎡当たりの市負担額 【原因】①～③維持管理費がかかるが、無料施設であるため、市負担額が増となっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地区に同じ利用用途の施設はない	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野南地区公民館	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道28号線寺町交差点を何進し、宮崎自動車道高架下を右折した先にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 施設所在地から半径1km 【現在の人口】432人(平成22年10月1日現在 国勢調査より算出) 【将来の人口】405人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値より算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】0.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	農村地域農業構造改善事業補助によって、旧田野町南地区における地域スポーツ振興の拠点施設として整備された	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2970	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	田野南農村運動広場	利用圏域別分類	地区
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏 まえた利用用途別 分類の経営の方向 性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2970	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	田野南農村運動広場	利用圏域別分類	地区
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外のとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3020				3.利用用途別分類	スポーツ施設					
2.施設名	北川内運動広場				4.利用圏域別分類	地区					
5.所在地(町名・番地)	北川内町城福町4808				15.設置根拠法令	スポーツ基本法					
6.バス停	倉の町(630m)				16.設置条例	宮崎市運動広場条例					
7.開設年月日	昭和58年4月7日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	直営				18. 外観						
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	環境美化センター建設に伴う地元の環境整備事業の一環として建設されたもの					19. 内部	写真				
					写真						
13.主な利用者	地域住民				20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m					
14.利用者駐車可能台数	0台				21.投票所の指定	無					
22. 土地情報	土地面積	3,354.00 m ²				24. 建物情報	総延床面積	10.57 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	3811千円 (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	2000年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		建物所有状況	市有物件			
	利用者数	—	—	—	—		借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	365	100.0	365	—		耐震対応(主たる建物)	対応済			
	利用率	—	—	—	—		未利用スペース	0 m ²			
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円			前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		839	99.4	844	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト		89	94.7	94	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト		0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト		750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨		0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト		0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト		0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	839	99.4	844	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—				28.工事請負費・修繕費	0					
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0				31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	839					
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0				市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100					
32.施設所管課	スポーツランド推進課				33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3020	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	北川内運動広場	4.利用圏域別分類	地区																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C																														
	品質評価の評価(偏差値)		55.5																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		43.4																														
①品質評価	バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>17.000 年</td> <td>58.0</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>59.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>56.6</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>1.000 件</td> <td>48.6</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>55.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	17.000 年	58.0	26.600 年	劣化度点数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	48.6	0.800 件	評価値		55.5			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	17.000 年	58.0	26.600 年																												
		劣化度点数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																												
		クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	48.6	0.800 件																														
評価値		55.5																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td></td> <td>45.6</td> <td>12.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.000 人</td> <td>44.3</td> <td>0.084 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量</td> <td></td> <td></td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.000</td> <td>45.0</td> <td>1.784</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数		45.6	12.000 人	稼働率			%	建物1㎡当たりの利用量率	0.000 人	44.3	0.084 人	建物1㎡当たりの利用量			台	土地1㎡当たりの利用量率			人	市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784	評価値		45.0	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数		45.6	12.000 人																														
稼働率			%																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.000 人	44.3	0.084 人																														
建物1㎡当たりの利用量			台																														
土地1㎡当たりの利用量率			人																														
市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784																														
評価値		45.0																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>100.000 %</td> <td>44.1</td> <td>78.743 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>99.400 %</td> <td>46.7</td> <td>87.543 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>79.376 千円</td> <td>34.2</td> <td>37.945 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>41.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	100.000 %	44.1	78.743 %	市負担額(ソフト)前年度比	99.400 %	46.7	87.543 %	建物1㎡当たりの市負担額	79.376 千円	34.2	37.945 千円	土地1㎡当たりの市負担額			千円	利用量当たりの市負担額			千円	評価値		41.7					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	100.000 %	44.1	78.743 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	99.400 %	46.7	87.543 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	79.376 千円	34.2	37.945 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額			千円																														
利用量当たりの市負担額			千円																														
評価値		41.7																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3020	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	北川内運動広場	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析 (総括)	いつでも誰でも利用できる無料の屋外スポーツ施設であり、施設の維持管理に費用を要している。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応【原因】車椅子対応トイレの整備がされていない	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率(コマ利用・定員充足)、②建物1㎡当たりの利用率、③市負担額千円当たりの利用率 【原因】①、②、③無料の施設であり、利用人数の把握を行っていない	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、②市負担額(ソフト)前年度比、③建物1㎡当たりの市負担額 【原因】①～③維持管理費がかかるが、無料施設であるため、市負担額が増となっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地区に同じ利用用途の施設はない	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	大坪4号街区公園、大坪3号街区公園、江南小学校(校舎・給食室・児童クラブ)、宝塚3号緑地広場、りんどう丘2号街区公園、大坪池公園、宮崎市総合福祉保健センター、宮崎市民文化ホール、池ノ上街区公園、上恒久1号街区公園、古城小学校(校舎・給食室・児童クラブ)、消防団大淀分団第4部消防団車庫、宮崎市立図書館、消防団大淀分団第5部消防団車庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道9号線から市道古城北河内線に入り、西進した先にある	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 施設所在地から半径1km 【現在の人口】7,990人(平成22年10月1日現在 国勢調査より算出) 【将来の人口】7,666人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値より算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】300万円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート


平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3020	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	北川内運動広場	利用圏域別分類	地区
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	屋外スポーツ施設に必要な施設であることから、今後も継続する	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏 まえた利用用途別 分類の経営の方向 性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3020	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	北川内運動広場	利用圏域別分類	地区
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	屋外スポーツ施設に必要な施設であることから、今後も継続する	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外するとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号		3150		3.利用用途別分類		スポーツ施設		
2.施設名		石崎運動広場		4.利用圏域別分類		地区		
5.所在地(町名・番地)		佐土原町下那珂2940-79		15.設置根拠法令		スポーツ基本法		
6.バス停		御殿下(350m)		16.設置条例		宮崎市運動広場条例		
7.開設年月日		平成12年4月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観				
9.指定管理期間								
10.用途地域		その他			19. 内部	写真		
11.財産区分		公共用						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		佐土原西運動広場、佐土原東運動広場の設置後に石崎地区住民からの運動広場設置要望によるもの						
13.主な利用者		地域住民		20.避難所の指定(標高)		— 7.00 m		
14.利用者駐車可能台数		52台		21.投票所の指定		無		
22. 土地情報	土地面積		11,948.00 m ²		24. 建物情報		総延床面積 21.66 m ²	
	現況地目		宅地		取得価額計(開始時簿価計)		3590千円 (—)	
	土地所有形態		所有		階数・構造(主たる建物)		地上1階・W・木造	
	借受面積		0.00 m ²		建築年(主たる建物)		2000年	
23. 利用情報	(区分・単位)		平成29年度		平成28年度			
			人・食	前年比%	人・食	前年比%		
	利用者数		—	—	—	—		
	開館日数		365	100.0	365	—		
利用率		—	—	—	—			
				法定点検(主たる建物)		未対象		
				建物所有状況		市有物件		
				借受面積		0.00 m ²		
				耐震対応(主たる建物)		対応済		
				未利用スペース		0 m ²		
25. 収入	(区分・単位)		平成29年度		平成28年度			
			千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)		4	200.0	2	—		
	使用料(減免後)②		0	—	0	—		
	その他③		4	200.0	2	—		
	《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—		
	指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—		
	指定管理料⑥		0	—	0	—		
	利用料金収入		0	—	0	—		
	自主事業収入		0	—	0	—		
その他収入		0	—	0	—			
収入合計⑦		4	200.0	2	—			
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		—		—				
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)		4	200.0	2	—			
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)		0		0				
				26. 支出		(区分・単位)		
						平成29年度		
						平成28年度		
						千円	前年度比%	
						千円	前年度比%	
				市の支出計⑧ (指定管理料除く)		795	97.1	
				施設のコスト		45	65.2	
				事業のコスト		0	—	
				人に係るコスト		750	100.0	
				指定管理者の支出計⑨		0	—	
				施設のコスト		0	—	
				自主事業以外のコスト		0	—	
				自主事業のコスト		0	—	
				人に係るコスト		0	—	
				支出合計⑩		795	97.1	
				28.工事請負費・修繕費		0	—	
				31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		791	96.8	
				市負担割合(%) (⑪÷⑩)		99	99.7	
						100	—	
32.施設所管課		スポーツランド推進課		33.施設主管課		スポーツランド推進課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3150	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	石崎運動広場	4.利用圏域別分類	地区																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C																														
	品質評価の評価(偏差値)		53.6																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		46.2																														
① 品質評価	① 品質評価 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>17.000 年</td> <td>58.0</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>59.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>1.000 件</td> <td>48.6</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>53.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	17.000 年	58.0	26.600 年	劣化度数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	48.6	0.800 件	評価値		53.6			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	17.000 年	58.0	26.600 年																												
		劣化度数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																												
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	48.6	0.800 件																														
評価値		53.6																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td></td> <td>45.6</td> <td>12.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.000 人</td> <td>44.3</td> <td>0.084 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.000</td> <td>45.0</td> <td>1.784</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数		45.6	12.000 人	稼働率			%	建物1㎡当たりの利用量率	0.000 人	44.3	0.084 人	建物1㎡当たりの利用量率			台	土地1㎡当たりの利用量率			人	市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784	評価値		45.0	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数		45.6	12.000 人																														
稼働率			%																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.000 人	44.3	0.084 人																														
建物1㎡当たりの利用量率			台																														
土地1㎡当たりの利用量率			人																														
市負担額千円当たりの利用量	0.000	45.0	1.784																														
評価値		45.0																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>99.500 %</td> <td>44.2</td> <td>78.743 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>96.800 %</td> <td>47.4</td> <td>87.543 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>36.519 千円</td> <td>50.5</td> <td>37.945 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>47.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	99.500 %	44.2	78.743 %	市負担額(ソフト)前年度比	96.800 %	47.4	87.543 %	建物1㎡当たりの市負担額	36.519 千円	50.5	37.945 千円	土地1㎡当たりの市負担額			千円	利用量当たりの市負担額			千円	評価値		47.4					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	99.500 %	44.2	78.743 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	96.800 %	47.4	87.543 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	36.519 千円	50.5	37.945 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額			千円																														
利用量当たりの市負担額			千円																														
評価値		47.4																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3150	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	石崎運動広場	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析 (総括)	いつでも誰でも利用できる無料の屋外スポーツ施設であり、施設の維持管理に費用を要している。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な維持管理・利用方法等の要望が年に数件寄せられる 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】車椅子対応トイレの整備がされていない	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率(コマ利用・定員充足)、②建物1㎡当たりの利用率、③市負担額千円当たりの利用率 【原因】①、②、③無料の施設であり、利用人数の把握を行っていない	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合、市負担額(ソフト)前年度比 【原因】維持管理費がかかるが、無料施設であるため、市負担額が増となっている。	
5	定性的な要素の分析 (総括)	地区に同じ利用用途の施設はない	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	片瀬・下山地区学習等供用施設、佐土原消防団第5分団第10部消防団車庫、佐土原消防団第5分団第11部消防団車庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線佐土原町片瀬原交差点を東進した先にある。農業試験場前バス停より徒歩で約15分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 施設所在地から半径1km 【現在の人口】2,612人(平成22年10月1日現在 国勢調査より算出) 【将来の人口】2,418人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値より算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】400万円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート


平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3150	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	石崎運動広場	利用圏域別分類	地区
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏 まえた利用用途別 分類の経営の方向 性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3150	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	石崎運動広場	利用圏域別分類	地区
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、適正な維持管理に努める。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	屋外スポーツに必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外するとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	3200	3.利用用途別分類	スポーツ施設							
2.施設名	佐土原西運動広場	4.利用圏域別分類	地区							
5.所在地(町名・番地)	佐土原町東上那珂17744	15.設置根拠法令	スポーツ基本法							
6.バス停		16.設置条例	宮崎市運動広場条例							
7.開設年月日	昭和60年5月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(一般財団法人みやざき公園協会)	18. 外観	 							
9.指定管理期間	平成28年4月1日～令和03年3月31日									
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧佐土原町時代に、久峰総合公園の建設構想が立ち上がっていた中で西佐土原地域住民から地元運動施設建設要望があり、また、佐土原町域において野球場がなかったため佐土原町工業団地を整備するにあたり、佐土原地区のスポーツの拠点施設として整備された。				19. 内部	写真				
13.主な利用者	地区住民	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	90台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	29,937.47 m ²		24. 建物情報				総延床面積	194.03 m ²	
	現況地目	宅地						取得価額計(開始時簿価計)	47772千円 (—)	
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1985年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	24,726	88.3	28,018	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	307	99.7	308	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用率	81	89.0	91	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	432	110.2	392	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	750	98.4	762	—
	使用料(減免後)②	432	118.0	366	—	施設のコスト	0	0.0	12	—
	その他③	0	0.0	26	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	120	148.1	81	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	2,223	100.2	2,219	—	指定管理者の支出計⑨	4,111	97.0	4,240	—
	指定管理料⑥	2,223	100.2	2,219	—	施設のコスト	3,222	97.9	3,291	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	0.0	6	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	889	94.3	943	—	
収入合計⑦	2,655	101.7	2,611	—	支出合計⑩	4,861	97.2	5,002	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	22	120.0	18	—	28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	432	110.2	392	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,541	98.1	2,589	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 1,888	93.4	△ 2,021	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	52	101.0	52	—	
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3200	3.利用用途別分類	スポーツ施設																													
2.施設名	佐土原西運動広場	4.利用圏域別分類	地区																													
5.基礎評価																																
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A																													
	品質評価の評価(偏差値)		51.8																													
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		63.9																													
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>32.000 年</td> <td>45.5</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>0.500 件</td> <td>57.0</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>56.6</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>1.500 件</td> <td>45.0</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	32.000 年	45.5	26.600 年	劣化度数(棟平均)	0.500 件	57.0	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	1.500 件	45.0	0.800 件	評価値		51.8		
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																										
			築年数(棟平均)	32.000 年	45.5	26.600 年																										
			劣化度数(棟平均)	0.500 件	57.0	1.900 件																										
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																										
			クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	1.500 件	45.0	0.800 件																													
評価値		51.8																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>81.000 人</td> <td>74.4</td> <td>12.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>60.300 %</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.415 人</td> <td>72.5</td> <td>0.084 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>9.731</td> <td>72.3</td> <td>1.784</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>73.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	81.000 人	74.4	12.000 人	稼働率	60.300 %	-	%	建物1㎡当たりの利用量率	0.415 人	72.5	0.084 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	9.731	72.3	1.784	評価値		73.1	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
日あたり利用者数	81.000 人	74.4	12.000 人																													
稼働率	60.300 %	-	%																													
建物1㎡当たりの利用量率	0.415 人	72.5	0.084 人																													
建物1㎡当たりの利用量率																																
土地1㎡当たりの利用量率																																
市負担額千円当たりの利用量	9.731	72.3	1.784																													
評価値		73.1																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>52.270 %</td> <td>57.3</td> <td>78.743 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>98.100 %</td> <td>47.1</td> <td>87.543 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>13.096 千円</td> <td>59.5</td> <td>37.945 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.103 千円</td> <td>-</td> <td>- 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>54.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	52.270 %	57.3	78.743 %	市負担額(ソフト)前年度比	98.100 %	47.1	87.543 %	建物1㎡当たりの市負担額	13.096 千円	59.5	37.945 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.103 千円	-	- 千円	評価値		54.6					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
市負担割合	52.270 %	57.3	78.743 %																													
市負担額(ソフト)前年度比	98.100 %	47.1	87.543 %																													
建物1㎡当たりの市負担額	13.096 千円	59.5	37.945 千円																													
土地1㎡当たりの市負担額																																
利用量当たりの市負担額	0.103 千円	-	- 千円																													
評価値		54.6																														
品質評価の分布図																																
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																
供給評価・財務評価の分布図																																
供給評価(横) / 財務評価(縦)																																

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3200	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	佐土原西運動広場	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から33年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設から33年以上が経過している 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】スロープや点字ブロック等が設置されていない	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比 【原因】指定管理者の委託料が増加したほか、他の施設と比べて相対的に負担が高いため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地区内に同じ利用用途の施設が存在するが、本施設のみが屋外スポーツ施設を有する。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	佐土原西体育館、佐土原出張所、西野久尾地区学習等供用施設、佐土原中学校、今坂団地、追手 地区コミュニティーセンター、城址公園、追手団地、佐土原歴史資料館、下村団地、宮崎テクニサー チパーク交流研修センター	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	佐土原西体育館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	宮崎テクニサーチパーク内に位置し、国道219号沿線の最寄バス停より徒歩5分	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 施設所在地から半径1km 【現在の人口】1,308人(平成22年10月1日現在 国勢調査より算出) 【将来の人口】1,124人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値より算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】0.8億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3200	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	佐土原西運動広場	利用圏域別分類	地区
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	昭和60年開設施設で一部劣化やバリアフリー未対応箇所が見られるものの、重大な不具合は生じていない。今後も定期的・日常的施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質及び供給・財務の評価は平均点以上で、特に施設規模に対して利用者数が多く、また市の負担割合も低い。今後も市負担額の削減のために、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3200	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	佐土原西運動広場	利用圏域別分類	地区
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	昭和60年開設施設で一部劣化やバリアフリー未対応箇所が見られるものの、重大な不具合は生じていない。今後も定期的・日常的施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質及び供給・財務の評価は平均点以上で、特に施設規模に対して利用者数が多く、また市の負担割合も低い。今後も市負担額の削減のために、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	3210	3.利用用途別分類	スポーツ施設	
2.施設名	細江運動広場	4.利用圏域別分類	地区	
5.所在地(町名・番地)	細江2159	15.設置根拠法令	スポーツ基本法	
6.バス停	中福良橋(150m)	16.設置条例	宮崎市運動広場条例	
7.開設年月日	昭和49年6月12日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する	
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 	
9.指定管理期間				
10.用途地域	その他			
11.財産区分	公共用			
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	細江地区住民のための運動広場として整備したもの	19. 内部	<p style="text-align: center;">写真</p> <p style="text-align: center;">写真</p>	
13.主な利用者	地域住民			
14.利用者駐車可能台数	0台	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m	
22. 土地情報		21.投票所の指定		
土地面積		24.建物情報		
現況地目		総延床面積		
土地所有形態		取得価額計(開始時簿価計)		
借受面積		階数・構造(主たる建物)		
23. 利用情報	(区分・単位)		平成29年度	
			平成28年度	
	人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	—	—	—
開館日数	365	100.0	365	—
利用率	—	—	—	—
25. 収入		26. 支出		
(区分・単位)		(区分・単位)		
平成29年度		平成28年度		
千円		千円		
前年度比%		前年度比%		
市の収入計① (②+③)		市の支出計⑧ (指定管理料除く)		
使用料(減免後)②		施設のコスト		
その他③		事業のコスト		
《参考》 使用料減免額④		人に係るコスト		
指定管理者の収入計⑤		指定管理者の支出計⑨		
指定管理料⑥		施設のコスト		
利用料金収入		自主事業以外のコスト		
自主事業収入		自主事業のコスト		
その他収入		人に係るコスト		
収入合計⑦		支出合計⑩		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		28.工事請負費・修繕費		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)		31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)		市負担割合(%) (⑪÷⑩)		
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3210	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	細江運動広場	4.利用圏域別分類	地区																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A																																
	品質評価の評価(偏差値)		52.1																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		57.6																																
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>32.000 年</td> <td>45.5</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>59.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>1.000 件</td> <td>48.6</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>52.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	32.000 年	45.5	26.600 年	劣化度数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数				バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	48.6	0.800 件	評価値		52.1					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			築年数(棟平均)	32.000 年	45.5	26.600 年																													
			劣化度数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件																													
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																													
			クレーム点数																																
バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	48.6	0.800 件																																
評価値		52.1																																	
② 供給評価	② 供給評価 利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。	指標の結果 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用率 建物1㎡当たりの利用率 土地1㎡当たりの利用率 市負担額千円当たりの利用率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td></td> <td>45.6</td> <td>12.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td>0.000 人</td> <td>44.3</td> <td>0.084 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数		45.6	12.000 人	稼働率			%	建物1㎡当たりの利用率	0.000 人	44.3	0.084 人	建物1㎡当たりの利用率			台	土地1㎡当たりの利用率			人	市負担額千円当たりの利用率				評価値		45.0	
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			日あたり利用者数		45.6	12.000 人																													
			稼働率			%																													
			建物1㎡当たりの利用率	0.000 人	44.3	0.084 人																													
			建物1㎡当たりの利用率			台																													
土地1㎡当たりの利用率			人																																
市負担額千円当たりの利用率																																			
評価値		45.0																																	
③ 財務評価	③ 財務評価	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用率当たりの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>0.000 %</td> <td>71.8</td> <td>78.743 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>0.000 %</td> <td>74.2</td> <td>87.543 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>0.000 千円</td> <td>64.5</td> <td>37.945 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用率当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>70.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	0.000 %	71.8	78.743 %	市負担額(ソフト)前年度比	0.000 %	74.2	87.543 %	建物1㎡当たりの市負担額	0.000 千円	64.5	37.945 千円	土地1㎡当たりの市負担額			千円	利用率当たりの市負担額			千円	評価値		70.2					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			市負担割合	0.000 %	71.8	78.743 %																													
			市負担額(ソフト)前年度比	0.000 %	74.2	87.543 %																													
			建物1㎡当たりの市負担額	0.000 千円	64.5	37.945 千円																													
			土地1㎡当たりの市負担額			千円																													
利用率当たりの市負担額			千円																																
評価値		70.2																																	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図 																																
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3210	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	細江運動広場	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析 (総括)	いつでもだれでも利用できる無料の屋外スポーツ施設であり、施設の維持管理に費用を要している。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後32年経過している。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】誘導用床材等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率②建物1㎡当たりの利用率【原因】①②無料の施設であり、利用人数の把握を行っていない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地区に同じ利用用途の施設はない。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	消防団生目分団第2部消防団車庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道370号線中福良橋バス停より徒歩で約5分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 施設所在地から半径1km 【現在の人口】374人(平成22年10月1日現在 国勢調査より算出) 【将来の人口】307人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値より算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】600万円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3210	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	細江運動広場	利用圏域別分類	地区
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとしては、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。 「質の向上」の取組みとしては、適正な維持管理に努める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3210	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	細江運動広場	利用圏域別分類	地区
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとしては、施設の状態把握に努め、計画的に修繕する。 「質の向上」の取組みとしては、適正な維持管理に努める。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	屋外スポーツ施設に必要な建物であることから、今後も継続する。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	施設の状態把握に努め、適正な維持管理に努める。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	100	3.利用用途別分類	スポーツ施設								
2.施設名	このはなスポーツプラザ	4.利用圏域別分類	地区								
5.所在地(町名・番地)	熊野9844	15.設置根拠法令									
6.バス停	今江(390m)	16.設置条例									
7.開設年月日	平成4年7月10日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種低層住居専用地域										
11.財産区分	普通										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	木花中学校の移転に伴い、平成4年7月10日に用途廃止し、管財課へ移管されたもの。構造物としてはトイレがある。										
13.主な利用者	このはなスポーツプラザ利用者	20.避難所の指定(標高)	— 33.70 m								
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	17,300.16 m ²				24. 建物情報	総延床面積	32.16 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	2250千円 (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・CB・コンクリートブロック			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1969年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		24. 建物情報	法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		建物所有状況	市有物件			
	利用者数	2,000	100.0	2,000	—		借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	365	100.0	365	—		耐震対応(主たる建物)	対象外			
	利用率	5	100.0	5	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,058	170.4	1,208	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	1,308	285.6	458	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	2,058	170.4	1,208	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	670	—	0	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0		0		31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,058	170.4	1,208	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	資産経営課				33.施設主管課	資産経営課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	100	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	このはなスポーツプラザ	4.利用圏域別分類	地区																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	D																																	
	品質評価の評価(偏差値)	30.2																																	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	46.3																																	
①品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価がきわめて低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>48.000 年</td> <td>32.3</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>6.000 件</td> <td>29.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>22.0</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>5.000 件</td> <td>20.2</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>30.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	48.000 年	32.3	26.600 年	劣化度数(棟平均)	6.000 件	29.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	22.0	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	5.000 件	20.2	0.800 件	評価値		30.2					
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
		築年数(棟平均)	48.000 年	32.3	26.600 年																														
		劣化度数(棟平均)	6.000 件	29.5	1.900 件																														
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	22.0	4.700 点																														
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																														
		バリアフリー未対応(棟平均)	5.000 件	20.2	0.800 件																														
評価値		30.2																																	
②供給評価	利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>5.000 人</td> <td>47.6</td> <td>12.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td></td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.170 人</td> <td>55.9</td> <td>0.084 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.972</td> <td>47.7</td> <td>1.784</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>50.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	5.000 人	47.6	12.000 人	稼働率		%	%	建物1㎡当たりの利用量率	0.170 人	55.9	0.084 人	建物1㎡当たりの利用量率		台	台	土地1㎡当たりの利用量率		人	人	市負担額千円当たりの利用量	0.972	47.7	1.784	評価値		50.4	
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
		日あたり利用者数	5.000 人	47.6	12.000 人																														
		稼働率		%	%																														
		建物1㎡当たりの利用量率	0.170 人	55.9	0.084 人																														
		建物1㎡当たりの利用量率		台	台																														
		土地1㎡当たりの利用量率		人	人																														
市負担額千円当たりの利用量	0.972	47.7	1.784																																
評価値		50.4																																	
③財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>100.000 %</td> <td>44.1</td> <td>78.743 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>114.900 %</td> <td>42.4</td> <td>87.543 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>63.993 千円</td> <td>40.1</td> <td>37.945 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>1.029 千円</td> <td>-</td> <td>- 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>42.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	100.000 %	44.1	78.743 %	市負担額(ソフト)前年度比	114.900 %	42.4	87.543 %	建物1㎡当たりの市負担額	63.993 千円	40.1	37.945 千円	土地1㎡当たりの市負担額		千円	千円	利用量当たりの市負担額	1.029 千円	-	- 千円	評価値		42.2					
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
		市負担割合	100.000 %	44.1	78.743 %																														
		市負担額(ソフト)前年度比	114.900 %	42.4	87.543 %																														
		建物1㎡当たりの市負担額	63.993 千円	40.1	37.945 千円																														
		土地1㎡当たりの市負担額		千円	千円																														
		利用量当たりの市負担額	1.029 千円	-	- 千円																														
評価値		42.2																																	
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図																																	
				品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	100	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	このはなスポーツプラザ	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価および財務評価は平均点未満であり、供給評価は平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】建築から40年以上が経過。 【評価指標】劣化度数【原因】建築後40年以上経過しており劣化が進んでいる。 【評価指標】耐震対応【原因】未整備 【評価指標】クレーム点数【原因】施設利用者から草刈等の要望あり。 【評価指標】バリアフリー対応【原因】未整備	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率 【原因】利用者は、近隣住民の方がほとんどであるため。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。【原因】施設使用料を徴収しておらず、利 用者も少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】当該施設では収入がなく、市負担割合が100%となっているため、 収入のある他施設と比べて偏差値が低い。 【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比、建物1㎡当たりの市負担額【原因】今回から草刈委託費を計 上したため、前年度比が高くなっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	普通財産であり、トイレとしての機能は残っている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	木花小学校、熊野街区公園、木花分団第4部消防団車庫、木花地域センター、木花公民館、木花児 童プール、木花児童センター、権現山公園、木花台2号街区公園、木花中学校、木花公園、木花台5 号街区公園 他	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道368号線伊勢田木崎線から市道今江権現線を300m程度南進した位置にあり、県道沿いにバス 停留所が設置されているが、高台にあり、車両が通る道は幅員が狭く、交通事情は良好とは言えな い。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 施設所在地から半径1km 【現在の人口】4,614人(平成22年10月1日現在 国勢調査より算出) 【将来の人口】4,304人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値より算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2010年代 【建て替えの事業費(概算)】1,000万円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘はない。他自治体においては、用途廃止され普通財産となった建物は、 その後の利活用の予定がない場合は、まず売却を検討する。売却に至らなかった場合は、貸付を検 討する。当施設については、トイレとして市民が利用している。	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	100	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	このはなスポーツプラザ	利用圏域別分類	地区
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。市民がトイレとして利用している施設である。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	建物の品質評価および財務評価としては平均点未滿で、既に用途廃止されて普通財産となっており劣化が進んでいるが、今後も継続して利用する見込みがあるため。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	当該施設のトイレとして、その機能を最低限維持する程度の支出に抑えるよう努める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	当該施設は、このはなスポーツプラザのトイレであり、施設を統合することは困難である。このトイレを使用する市民が多いことから、機能を継続する必要がある。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	当該施設に係るソフト面の費用は、光熱水費が約193千円、人件費が750千円(最低限值)である。このうち、削減の余地があると思われる光熱水費については、トイレ利用者に対し、節電及び節水を心がけた使用を呼びかける等の対策に取り組む。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	100	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	このはなスポーツプラザ	利用圏域別分類	地区
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。市民がトイレとして利用している施設である。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	建物の品質評価および財務評価としては平均点未満で、既に用途廃止されて普通財産となっており劣化が進んでいるが、今後も継続して利用する見込みがあるため。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	当該施設のトイレとして、その機能を最低限維持する程度の支出に抑えるよう努める。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	当該施設は、このはなスポーツプラザのトイレであり、施設を統合することは困難である。このトイレを使用する市民が多いことから、機能を継続する必要がある。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※30が「廃止」以外のとき	当該施設に係るソフト面の費用は、光熱水費が約193千円、人件費が750千円(最低限值)である。このうち、削減の余地があると思われる光熱水費については、トイレ利用者に対し、節電及び節水を心がけた使用を呼びかける等の対策に取り組む。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	